



**2019年6月15日
第46回 定時株主総会
事業報告**

ぴあ株式会社
PIA CORPORATION

- [1] 2018年度の業績と、
中期経営計画の主な取り組み**

- [2] 2019年度ならびに
中期経営計画の数値目標**

[1] 2018年度の業績と 中期経営計画の主な取り組み



▶ [1] 2018年度の業績と、 中期経営計画の主な取り組み

[2] 2019年度ならびに 中期経営計画の数値目標



当社グループ通期連結業績の概要は以下の通り。

- 1) 音楽、スポーツ、イベント、映画ジャンルを中心にチケット販売が好調に推移し、売上高は最高値を更新。営業・経常・当期利益も増益で着地。
- 2) 「Mr.Children」「松任谷由実」「シルク・ドゥ・ソレイユ・キュリオス」等の大型興行に加え、プロ野球やサッカーなどのスポーツジャンルが好調を牽引。「神宮外苑花火大会」や「PMC(ぴあフェス)」等の主催興行の活況も要因。

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み

直近3ヶ年の業績推移



【連結ベース】

[単位:億円]

	2016年度	2017年度	2018年度	
	実績	実績	計画	実績
売上高	1,528	1,635	1,650	1,799
営業利益	17.8	12.2	12.5	13.7
経常利益	16.7	11.7	12.0	13.4
当期利益	9.7	7.0	7.0	8.1
配当金	16.0円	16.0円	17.0円	20.0円
配当性向	23.6%	31.8%	—	33.8%

※親会社株主に帰属する当期純利益です。

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み

連結損益計算書



[単位:百万円]

	【前年度】	【2018年度】	【前年度差】
売上高	163,509	179,969	+16,459
売上原価	150,772	164,965	+14,192
差引売上総利益	12,737	15,004	+2,267
販管費	11,511	13,626	+2,114
営業利益	1,225	1,377	+152
営業外収益	15	46	+31
営業外費用	66	75	+8
経常利益	1,173	1,348	+174
特別利益	8	-	△8
特別損失	-	-	-
税引き前当期純利益	1,182	1,348	+166
法人税等合計及び非支配株主利益	476	530	+53
親会社株主に帰属する当期純利益	706	817	+111
包括利益	750	828	+78

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み

連結貸借対照表



[単位:百万円]

資産の部		
	【前年度】	【2018年度】
現預金	18,582	25,206
売掛金等	25,287	20,759
商品等	134	167
その他	2,941	3,718
流動資産	46,698	49,850
有形固定	1,359	4,435
無形固定	3,911	4,517
投資その他	3,518	3,895
固定資産	8,789	12,848
資産合計	55,488	62,699

負債の部		
	【前年度】	【2018年度】
流動負債	47,597	52,614
固定負債	561	3,483
負債合計	48,158	56,098
純資産の部		
資本金	4,903	4,924
資本剰余金	1,084	1,105
利益剰余金	3,796	4,431
自己株式	△2,488	△3,904
他包括利益	△43	△44
非支配株主持分	77	88
純資産合計	7,329	6,601
負債純資産合計	55,488	62,699

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み

連結キャッシュフロー



[単位:百万円]

	【前年】	【2018年度】	【前年度比】
税引き前当期利益	1,182	1,348	+166
減価償却費	811	1,323	+512
売上債権の増減	△8,273	4,527	+12,800
仕入債務の増減	15,196	△2,065	△17,261
その他	△2,500	5,625	+8,125
利息・税金等	△563	△221	+342
営業キャッシュ・フロー	5,852	10,537	+4,685
無形固定資産の取得	△1,521	△1,933	△412
その他	△2,510	△3,147	△637
投資キャッシュ・フロー	△4,031	△5,080	△1,049
財務キャッシュ・フロー	△2,089	1,166	+3,255
キャッシュの増減	△268	6,623	+6,891

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み

中期経営計画(2018~2020年度)の骨子



- ① ライブコンテンツの供給からユーザー体験までをトータルに提供できる、ぴあならではのバリューチェーンの成立を目指す。

～ぴあのバリューチェーン～

〔ライブエンタテインメント事業〕



〔メディア&コミュニケーション事業〕

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み

中期経営計画(2018~2020年度)の骨子



- ② 2019年のラグビーW杯や、2020年の東京オリンピック・パラリンピックをはじめとする、大規模な国際的イベントのチケットिंगオペレーションの受託を通じて、国内外におけるぴあのブランド価値を高める。
- ③ 新規事業・サービスの開発、女性の視点をふまえた働き方改革を推進するとともに、中長期的な事業戦略を策定する。

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み



①ぴあバリューチェーンの取り組み(1/6)

ライブコンテンツ

興行企画制作

チケット流通

会場

出版・アプリ

コンテンツ保有者・プロモーターとの関係性の強化を継続。
興行事業は、収益拡大のため大型興行へのアプローチを強化。



◆METROCK2018
OSAKA・TOKYO



◆PMC(ぴあフェス)



◆神宮外苑花火大会



◆あんさんぶるスターズ!
DREAM LIVE



◆大相撲仙台場所



◆神宮球場リレーマラソン



◆S20 Japan Songkran
Music Festival



◆au×PIAの
「uP!!!フェス2018」

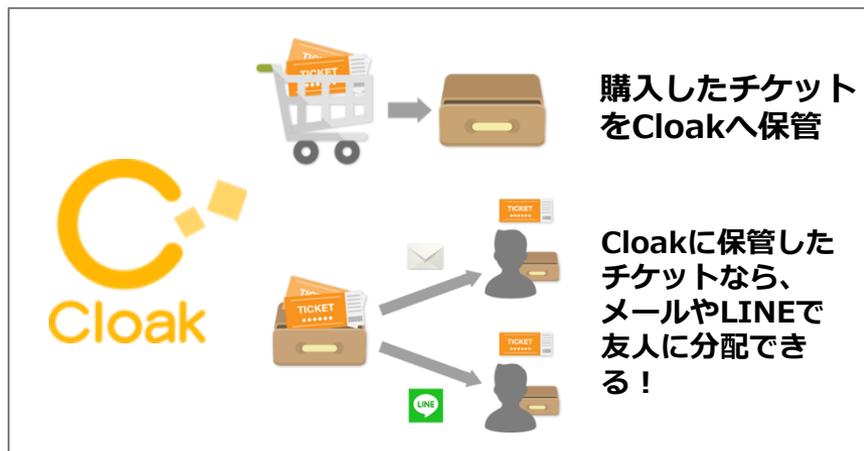
[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み



①ぴあバリューチェーンの取り組み(2/6)



「チケットぴあ」のサービスを新技術の積極導入で強化。
高額転売対策に向けて、あるべき2次流通市場の検討をスタート。



安心して便利なチケットの流通・分配機能を持つ「クロークサービス」を開始



業界団体による
公式リセールサービス(2017年～)

Jリーグ年間シート会員の入場システム
「ワンタッチパス」をリニューアル

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み



①ぴあバリューチェーンの取り組み(3/6)



各社とのアライアンス連携も深化。ソリューション連携に加え、協業の強化にも取り組む。



アライアンス先各社との連携も引き続き継続



三井物産、ヤフーとの協業で、価格変動制チケット販売を行うダイナミックプラス社を設立



スポーツソリューション事業も好調



◀2018年11月、吹田スタジアムでスタジアムサービスの実証実験を実施

チケットレスサービスの実験もスタート

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み



①ぴあバリューチェーンの取り組み(4/6)

ライブコンテンツ

興行企画制作

チケット流通

会場

出版・アプリ

「ぴあアリーナMM」は、音楽専門アリーナとして、
2020年春に向け、開業準備進行中。

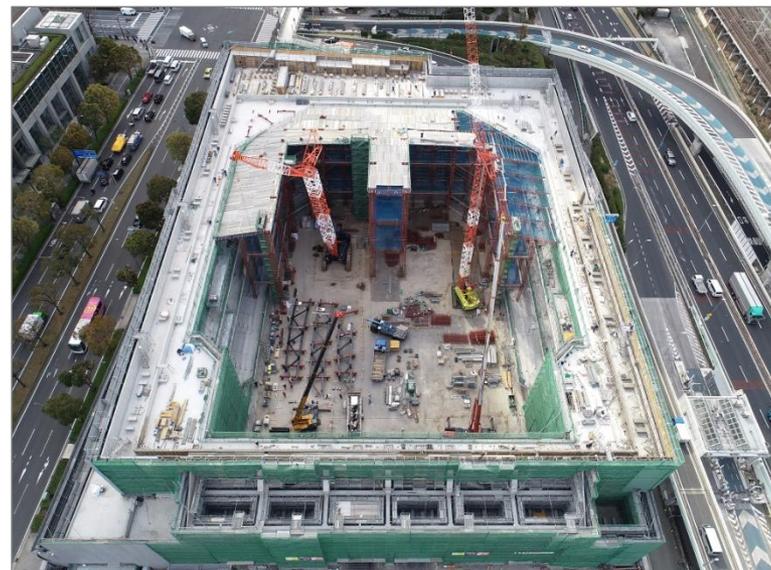


▲完成イメージ

建設・仕様のプランニングは着実に進捗。昨年10月から開始した利用予約の受付も順調

ぴあアリーナMM

▲ロゴイメージ



▲最近の建設現場の様子

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み



①ぴあバリューチェーンの取り組み(5/6)

ライブコンテンツ

興行企画制作

チケット流通

会場

出版・アプリ

ぴあ(アプリ)を11月に本創刊。ダウンロード数は順調に増加中。



偶然の出会いと発見を創り出していた雑誌『ぴあ』の世界観を再現。多彩な機能も好評

ぴあのいいところ ①

ぴあなら、
「いつ、どこで、なにを？」
を入れるだけで、
見たいエンタメが
サクッと見つかる！

ぴあのいいところ ②

ぴあなら、
大切な情報を
逃さずチェック！
自分の「みたい、みた」
リストも残せます！

ぴあのいいところ ③

ぴあでしか読めない
コラム満載！しかも
あのひとが、おすすめの
エンタメを
教えてくださいます！

ぴあのいいところ ④

ぴあを見せるだけで、
いつもの映画館も、
ドーンと割引
美術館も、演劇も、
割引きます！

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み



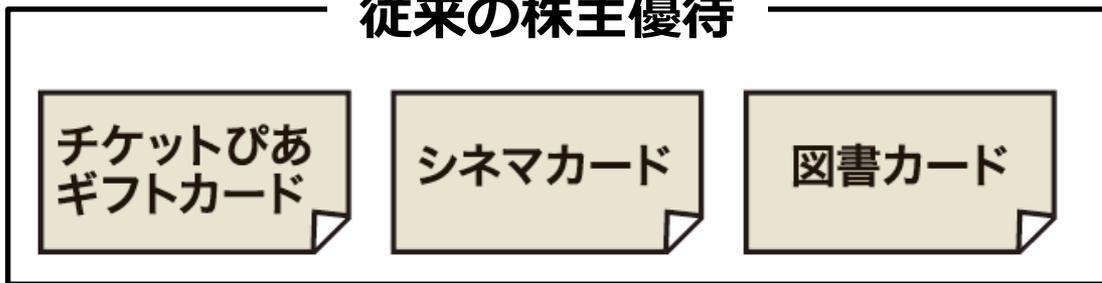
①ぴあバリューチェーンの取り組み(5/6)



2019年度からは、有料サービスの利用権(年間6,000円相当)を株主様への優待特典メニューに追加!

2期継続、100株以上を保有していただいている株主の皆様を対象に、「よくばりプラン(有料コンテンツ)」を1年間無償でご利用いただけます

従来の株主優待



+

に加え



**「ぴあ」(アプリ)の
有料コンテンツ年6,000円分を
無償でご利用いただけます**

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み



①ぴあバリューチェーンの取り組み(6/6)

ライブコンテンツ

興行企画制作

チケット流通

会場

出版・アプリ

出版事業ではMOOKから派生した立体的な企画を推進。旬の話題を捉えたライブ・エンタテインメント関連本を多く販売。



◀人気書籍『パンダと犬』の期間限定ショップ



▶「パンのフェス」は13万人を動員



上記イベント等、出版販売以外での収益獲得の成功事例も増加

◆田中圭さん ◆川田裕美さん ◆青学原晋監督の
写真集 エッセイ コミカライズ



◆大人計画創設30周年記念本 ◆アニメぴあ ◆あしたのジョー DVD BOX

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み

② 国際的イベントへの取り組み



「ラグビーW杯2019」と「2020東京オリンピック・パラリンピック」のチケット販売業務を受託。



▲2018年8月の「釜石鵜住居復興スタジアム オープニングDAY」の様子

9月～11月まで日本全国12会場で行われるラグビーW杯2019のチケット販売も好調



2020東京オリンピック・パラリンピックのチケットは、5/29に抽選申込受付を終了

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み

③新規サービス、働き方改革、中期事業戦略



・PGE(ぴあグローバルエンタテインメント)は北京・上海をはじめとする中国都市部や、台北、香港などで興行を実施。

今後は、興行の展開を東アジア・東南アジアにも拡大予定



◆久石譲コンサート(重慶、成都)



◆東野圭吾原作「手紙」ミュージカル(上海)



◆DRUM TAO 舞響(北京、天津)

・昨年6月に就任した女性取締役を中心に、当社女性へのグループピアリングを実施。

そこでの課題についてプロジェクト化を見据えた活動を継続するほか、残業時間の抑制、有給休暇の消化率アップのための施策も推進



▲2018年7月の全社イベント「創業記念祭」

・戦略企画室・研究開発室を発足。次期中期事業戦略の骨子を策定中。

[1] 2018年度の業績と中期経営計画の主な取り組み

社業を通じた社会的活動



ぴあフィルム
フェスティバル
が40回目を開催



各界の著名人を被災地に招く
「わたしの夢」応援プロジェクト」も継続中



▲第40回PFFの授賞式の模様



Vol.16 渡辺貞夫さん
(宮城)



Vol.18,19
茂木健一郎さん、柳家
花緑さん(福島・岩手)



PFFアワード2017グ
ランプリ「わたしたち
の家」(監督:清原 惟)
が、中国最大の映画
祭・上海国際映画祭に
て最優秀監督賞を受賞



Vol.17 川淵三郎さん
(福島)



Vol.20 乙武洋匡さん
(福島)

[2] 中期経営計画の数値目標



[1] 2018年度の業績と、
中期経営計画の主な取り組み

▶ [2] 2019年度ならびに
中期経営計画の数値目標

[2] 中期経営計画の数値目標



【連結ベース】

[単位:億円]

	2018年度		2019年度 計画	2020年度 計画
	計画	実績		
売上高	1,650	1,799	1,800	1,800
営業利益	12.5	13.7	14.5	18.0
経常利益	12.0	13.4	14.0	17.0
当期利益 [※]	7.0	8.1	8.2	11.0
償却前営業利益	27.0	27.0	29.0	33.0
配当金	17円	20円	20円	—
配当性向	—	33.8%	33.4%	—

※親会社株主に帰属する当期純利益です。



ありがとうございました。